



報道関係者 各位

2026年6月15日

# 「なぜ私たちは合成された声に惹かれるのか」 VOCALOID 開発者・剣持秀紀氏を迎え 東京外国語大学で特別講演会を開催

東京外国語大学（東京都府中市、学長：春名展生）総合文化研究所は、2026年7月3日（金）、ヤマハ株式会社の剣持秀紀氏を講師に迎え、講演会「なぜ私たちは合成された声に惹かれるのか：VOCALOID 開発者・剣持秀紀氏に聞く」（講演企画者・田島充士（東京外国語大学））を開催いたします。

本講演では、「VOCALOID（ボーカロイド）」の開発を主導した剣持氏より、歌声合成技術の開発秘話や、その技術が切り拓いたアート実践、そして未来の「多文化共生」の可能性についてお話しいただきます。また、ゲストとして人気ボカロPのemon(Tes.)氏、コメンテーターとして入江哲朗氏（東京外国語大学）が登壇します。

## ■ 開催の背景とコンセプト

東京外国語大学が目指す多文化共生。様々な文化の垣根を越えて広がる現代のネットカルチャーは、この多文化共生の一つの姿といえます。歌声合成技術「VOCALOID」（ヤマハ株式会社）は、歌い手の感情表現に規定されにくく、聴き手の多様な解釈を許容しやすい特性を持つことから、アート媒体として、ネット環境に集う多様な文化的背景をもつ人々の創造と共感を支えてきた可能性があります。本イベントでは、「なぜ私たちは合成された声に惹かれるのか」という問いを軸に、合成音声の魅力と多文化共生の可能性について考えます。

## ■ 開催概要

日時：2026年7月3日（金）16:00～19:30

会場：東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール

（東京都府中市朝日町 3-11-1 西武多摩川線「多磨駅」徒歩5分）

主催：東京外国語大学・総合文化研究所

共催：東京外国語大学・学際研究共創センター

協力：ヤマハ株式会社、東京外大ミクライブ研究会

企画者：田島充士（東京外国語大学）

参加費：入場無料・事前登録制（定員300名程度）※事前申込者が定員を超える場合、申込みをお断りする場合があります。

※「VOCALOID(ボーカロイド)」ならびに「ボカロ」はヤマハ株式会社の登録商標です。<https://www.vocaloid.com/>

主催：東京外国語大学・総合文化研究所 協力：ヤマハ株式会社、東京外大ミクライブ研究会  
共催：東京外国語大学・学際研究共創センター

### なぜ私たちは合成された声に惹かれるのか ：VOCALOID開発者・剣持秀紀氏に聞く

合成された歌声は、なぜ多くの人々の心をつかむのか。  
VOCALOID開発者・剣持秀紀氏に、開発秘話と多文化共生の可能性をうかがいます。



2026年7月3日  
16:00-19:30

実施場所：東京外国語大学・アゴラグローバル  
企画者：田島充士（東京外国語大学）  
講演者：剣持秀紀（ヤマハ株式会社）  
ゲストボカロP：emon(Tes.)  
コメンテーター：入江哲朗（東京外国語大学）

入場無料・事前登録制  
（定員に達した場合、申込受付を  
終了いたします）



剣持秀紀氏



本講演は、独立行政法人日本学術振興会・科学研究費補助金・基礎研究C（課題番号26K06535）の助成を受けて実施する。  
←事前登録はこちら  
Art by NANA@Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

## ＜本件に関するお問い合わせ＞

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp



助成：本講演は、日本学術振興会・科学研究費補助金（課題番号 26K06535）の助成を受けて実施します。

詳細情報：[https://www.tufs.ac.jp/event/2026/260703\\_1.html](https://www.tufs.ac.jp/event/2026/260703_1.html)

## ■ 登壇者プロフィール

- 講演企画者：田島 充士（たじま あつし）氏  
東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授。専門は、教育心理学、異文化コミュニケーション論。
- 講演者：剣持 秀紀（けんもち ひでき）氏  
ヤマハ株式会社 研究開発統括部 主席技師。「VOCALOID」の開発を主導し、「VOCALOIDの父」として知られるエンジニアです。
- ゲスト：emon (Tes.) (エモン) 氏  
音楽プロデューサー。「どりーみんチュチュ」などの VOCALOID 楽曲で知られ、また幅広いアーティストへの楽曲提供なども行っています。
- コメンテーター：入江 哲朗（いりえ てつろう）氏  
東京外国語大学世界言語社会教育センター 講師。専門は、表象文化論、アメリカ思想史。

## ■ お申し込み方法

別添資料及び詳細ウェブページ ([https://www.tufs.ac.jp/event/2026/260703\\_1.html](https://www.tufs.ac.jp/event/2026/260703_1.html)) に記載の QR コードより事前登録をお願いいたします。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

東京外国語大学 講演会事務局 Email: [vocaloid@tufs.ac.jp](mailto:vocaloid@tufs.ac.jp)

## 東京外国語大学について

東京外国語大学は、世界の諸言語と、それに基づく文化・社会に関する研究・教育の日本における拠点です。高度な言語運用能力と多文化への深い敬意を備えた人材を育成するとともに、学術研究の成果を社会に広く発信し、多文化共生社会の実現に寄与することを目指しています。

国立大学法人 東京外国語大学

学長：春名 展生

所在地：東京都府中市朝日町 3-11-1

URL：<https://www.tufs.ac.jp/>

※「VOCALOID(ボーカロイド)」ならびに「ボカロ」はヤマハ株式会社の登録商標です。<https://www.vocaloid.com/>

---

### <本件に関するお問い合わせ>

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：[koho@tufs.ac.jp](mailto:koho@tufs.ac.jp)

---



講演会ポスター（表）

主催：東京外国語大学・総合文化研究所 協力：ヤマハ株式会社、東京外大ミクライブ研究会  
共催：東京外国語大学・学際研究共創センター

## なぜ私たちは合成された声に惹かれるのか

### ： VOCALOID開発者・剣持秀紀氏に聞く

合成された歌声は、なぜ多くの人々の心をつかむのか。  
VOCALOID開発者・剣持秀紀氏に、開発秘話と多文化共生の可能性をうかがいます。



2026年7月3日  
16:00-19:30

実施会場：東京外国語大学・アロググローバル  
企画者：田島充士（東京外国語大学）  
講演者：剣持秀紀（ヤマハ株式会社）  
ゲストボカロP：emon(Tes.)  
コメンテーター：入江哲朗（東京外国語大学）

入場無料・事前登録制  
（定員に達した場合、申込受付を終了いたします）



剣持秀紀氏



emon(Tes.)氏

本講演は、独立行政法人日本学術振興会・科学研究費補助金・  
基盤研究C（課題番号26K06535）の助成を受けて実施する。

←事前登録はこちら

Art by NANA© Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

▼講演会ポスター・イラストについて

「初音ミク」とは <https://piapro.net/>

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社が開発した、歌詞とメロディーを入力して誰でも歌を歌わせることができる「ソフトウェア」です。大勢のクリエイターが「初音ミク」で音楽を作り、インターネット上に投稿したことで一躍ムーブメントとなりました。「キャラクター」としても注目を集め、今ではバーチャルシンガーとしてグッズ展開やライブを行うなど多方面で活躍するようになり、人気は世界に広がっています。

※初音ミクの名称および初音ミクイラストを含む講演会ポスターを記事等に引用する場合、事前にクリプトン・フューチャー・メディア株式会社までご連絡下さい。

<本件に関するお問い合わせ>

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp



講演会ポスター（裏）

主催：東京外国語大学・総合文化研究所 協力：ヤマハ株式会社、東京外大ミクライブ研究会  
共催：東京外国語大学・学際研究共創センター

## なぜ私たちは合成された声に惹かれるのか ：VOCALOID開発者・剣持秀紀氏に聞く

### コンセプト

東京外国語大学がその実現を目指す「多文化共生」。「文化」を多様な考え方や価値観の総体と捉えるならば、ネットカルチャーの広がりは多文化共生の一形態といえよう。そして多文化共生の実現におけるアートの重要性は、多くの識者が指摘する。

歌声を合成できる「VOCALOID」は、世界中の人々の関心を引きつけ、いまなお発展を続けている。本講演では、このVOCALOIDを開発した剣持秀紀氏をお招きし、歌声合成技術の開発秘話と、それが切り拓いたアート実践、さらに未来の多文化共生の可能性についてご講演いただく。

本講演では、「なぜ私たちは合成された声に惹かれるのか」という点に着目する。合成された声による楽曲には、歌手の感情表現に規定されにくく、聴き手の多様な解釈を許容する傾向があるとされる。多様な文化的背景をもつ人々が集うネットにおいて、こうした音声表現は、アート媒体として多文化共生を実現してきた可能性がある。

音楽制作やネットカルチャーに関心をもつ方はもちろん、本学が探求目標として掲げる多文化共生の実現に関心を寄せる方の参加も広く歓迎する。

\*「VOCALOID（ボーカロイド）」および「ボカロ」はヤマハ株式会社の登録商標です。

### 講師紹介：剣持秀紀

ヤマハ株式会社 研究開発統括部 首席技師。歌声合成技術およびその応用ソフトウェア「VOCALOID」の開発を主導したエンジニア。人の歌声をコンピューターで再現する技術は、多くのリスナーをクリエイターへと導き、新たな創作文化の形成に大きな役割を果たした。「VOCALOIDの父」と称される。

### ゲストボカロP紹介：emon(Tes.)

音楽プロデューサー。2007年よりネットミュージックシーンで活動を開始。VOCALOID楽曲「どりーみんチュチュ」などで知られ、他アーティストの楽曲編曲やアイドル、ゲームなどへの楽曲提供まで幅広く手がける。

実施時期：2026年7月3日（金曜日）

実施時間：16：00-19：30

企画者：田島充士（東京外国語大学）

講演者：剣持秀紀（ヤマハ株式会社）

ゲストボカロP：emon(Tes.)

コメンテーター：入江哲朗（東京外国語大学）

実施会場：東京外国語大学・アゴラグローバル（プロメテウスホール）

一般公開・入場無料・事前登録制（定員300名程度：右のQRコードより申込み）

\*事前申込者が定員を超える場合、申込みをお断りする場合があります。

連絡先：vocaloid@tufs.ac.jp



<本件に関するお問い合わせ>

東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp